

Sound

vol.61

2024 SPRING

住友病院だより【さうんど】

特集

膠原病は不治の病ではなく
コントロールできる疾患です 膠原病・リウマチ内科

- 連携医療機関
医療法人良和会 松浦内科クリニック
医療法人 橋本膠原病リウマチクリニック
- 乳がん患者さまのサロン「ハビネス」のご案内
- INFORMATION



ご自由にお持ち帰りください

Illustration: Nozomi Nagasaki

膠原病・
リウマチ内科

膠原病は不治の病ではなく
コントロールできる疾患です

膠原病とは、自分の身体を守るための免疫に異常をきたし、自身を攻撃して臓器などに炎症を起こす疾患群の総称で、30種類ほどに分類されます。いまだに発症の原因は完全には解明されておらず、不治の病という印象を持たれている方もおられるでしょう。しかし近年の医学の進歩により、免疫のいかなる異常が、各疾患の病態形成に中心的な役割を担っているかが明らかになってきました。その免疫を特異的に抑制する薬も出てきたことで、疾患によつては症状に悩まされることのない「寛解」の状態にまで回復できるようにになりました。今や膠原病は上手に付き合っていくことができる、決して悲観する必要のない病気であると言えるでしょう。代表的な膠原病について紹介します。



膠原病・リウマチ内科 診療部長
北野 将康
Masayasu Kitano

日本リウマチ学会専門医・指導医ほか、
日本内科学会近畿支部評議員、日本リウマチ学会評議員も務め、
The Best Doctors in Japanにも選ばれている

■診療実績（2023年度）

疾患名	症例数
関節リウマチ	452
全身性エリテマトーデス	66
多発性筋炎／皮膚筋炎	43
全身性強皮症	38
混合性結合組織病	14
シェーグレン症候群	91
血管炎症候群	59
成人発症スチル病	12
脊椎関節炎	39
SAPHO症候群	10
IgG4関連疾患	45
ベーチェット病	22
再発性多発軟骨炎	2
リウマチ性多発筋痛症	36
RS3PE症候群	7
多中心性キャッスルマン病	18
TAFRO症候群	4
サルコイドーシス	6

膠原病の代表的疾患

代表的な膠原病疾患
関節リウマチ

関節リウマチは、膠原病の中で最も聞き馴染みのある病名ではないでしょうか。手指の小関節などに炎症が起こって腫れて痛み、発症から数年以内に関節破壊や変形が進行する疾患で、男女比では女性に多く見られます。

1999年に関節リウマチの免疫異常を抑制する「メトトレキサート」という内服薬が登場し、さらに2011年に高用量の使用が認められ、予後が大きく改善されました。メトトレキサートは世界中で関節リウマチのアンカードラッグ（治療の中心的役割を果たす薬剤）とされており、私たちも基本の薬として使用しています。

まずはメトトレキサートで寛解を目指しますが、そこまでの改善

が見られない方には生物学的製剤の注射を併用することになります。免疫細胞から分泌されるサイトカインの一種であるTNFαとIL-6という物質が関節リウマチの炎症の原因であることがわかっており、それらの作用をブロックする「TNF阻害薬」、「IL-6阻害薬」、また免疫の中心を担うリンパ球の一つであるT細胞に作用するT細胞活性化調節薬が存在し、これらは生物学的製剤と呼ばれています。

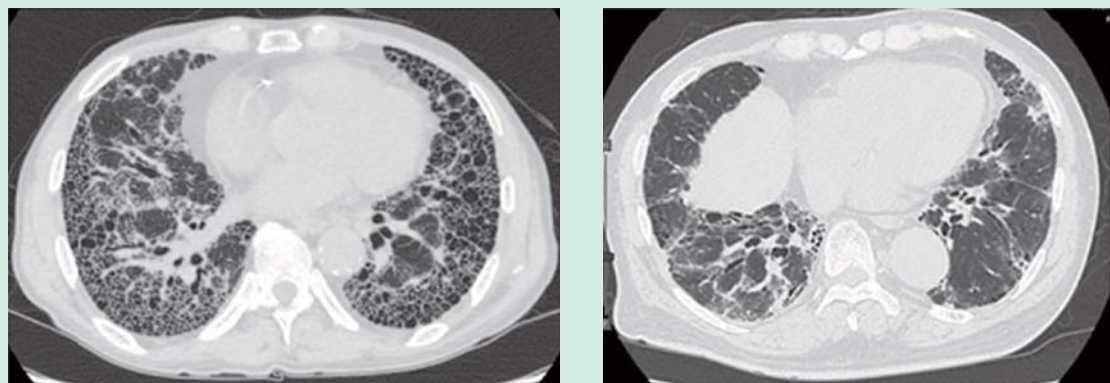
また生物学的製剤とは違ったかたちでさまざまなサイトカインをブロックする「JAK阻害薬」という内服薬もあり、早期発見・早期治療ができれば痛みや関節破壊の抑制が可能となっています。

当院では膠原病・リウマチ内科だけでなく、他科の協力のもとチームで患者さまをサポートしています。

【主な協力診療科】 整形外科、呼吸器内科

すでに関節破壊・変形が進み日常生活に支障をきたしている場合は、**整形外科**との連携が必要になります。さまざまな関節機能再建手術によって関節の機能を回復し、痛みを抑えます。また関節リウマチに限らず、膠原病の患者さまは肺にも炎症が起こることがあり、肺の間質という部位に炎症が生じ酸素を取り込みにくくなる間質性肺炎のリスクがあります。そのため呼吸器内科とも連携し、関節リウマチと肺炎の治療を並行して行うこともあります。

間質性肺炎



Akiyama M. et al.: Autoimmun Rev 2022; 21 (5): 103056 (引用文献)

指定難病 全身性 エリテマトーデス(SLE)

患者さまの9割が20代から30代の女性で、圧倒的に女性に多い疾患です。

代表的な症状として原因不明の発熱、顔の皮疹、関節の痛みが挙げられますが、このほかに腎臓や中枢神経、白血球、リンパ球、血小板の減少など、多臓器への影響が見られます。

中でも腎臓の障害を引き起こすループス腎炎のリスクが高く、血管内のタンパク質が尿と一緒に大量に出てしまうネフローゼ症候群をともなうと、急性腎不全や心不全、感染症などのリスクも高まります。

一方で症状が少なく皮膚症状だけの方や、治療の必要がない方もおられ、個々の患者さまによって対応が変わります。

治療としては、まずヒドロキシク

ロキンや副腎皮質ステロイド(ステロイド)を使用し、必要に応じてシクロホスファミドやミコフェノール酸モフェチル、タクロリムスといった免疫抑制剤や、免疫細胞の一つであるBリンパ球を標的としたベリムマブ、リツキシマブといった生物学的製剤、さらに病態に深く関与するI型IFNの作用を特異的にブロックするアニフルマブといった薬剤を併用し寛解を目指します。これらの薬を上手に使用し出来るだけステロイドの使用量を減らすように心がけています。

膠原病の治療薬には妊娠や授乳中の投与が好ましくないものがあり、特に全身性エリテマトーデスの患者さまは出産を考える年齢の女性が多いため、その点にも配慮し相談して治療を進めています。

当院は以前よりキャッスルマン病の治療に注力しており、多くの患者さまを診療している施設でもあります。

キャッスルマン病

リンパ節に慢性的な炎症が生じる稀な疾患です。日本では特発性多中心性キャッスルマン病が多く、患者数は1500名ほどとされていますが、まだ正しく診断されていない患者さまがいます。可能性も考えられます。症状は発熱、倦怠感、リンパ節腫脹、皮疹など、また検査異常としては慢性的なCRPの上昇が特徴です。

さらに血小板の減少、腎機能障害、全身の浮腫など重篤な症状がともなうケースもありますが、中には無症状の方もおられます。以前はステロイドによる治療が中心だったため、長期のステロイド使用による感染症などのリスクが問題となっていました。しかし、現在は関節リウマチと同じくIL-6というサイトカインの過剰産生が関わっていることがわかり、IL-6阻害薬を用いた治療が中心となりました。この新しい薬の登場により治療効果が大きく改善されています。

【主な協力診療科】

呼吸器内科、腎臓・高血圧内科、皮膚科

リンパ節が病態の主座であり外科と連携しリンパ節生検を行っています。これは診断を確定するためにも最も重要な検査となります。また肺、腎臓、皮膚などに病変が出るため、呼吸器内科、腎臓・高血圧内科、皮膚科とも密に連携しながら治療を進めています。

筋炎という病名のとおり自分の免疫が筋肉を攻撃する疾患で、身体が痛んだり力が入らない、疲れやすいといった症状のほか、全身の症状として倦怠感や発熱、関節痛などが見られます。

さらに手指、ひじ、ひざの関節がガサガサしたり、上まぶたが暗紫色に浮腫んだりする皮膚症状がある場合は皮膚筋炎となります。また間質性肺炎を生じるリスクが高いのも特徴の一つで注意が必要です。患者さまごとに症状が異なるため、それぞれに応じた対応が求められます。

治療はステロイドと免疫抑制剤の併用で行います。病状によっては免疫グロブリン大量療法という治療も試みられます。いずれにしても早期に発見し治療を開始することが重要です。

多発性筋炎・皮膚筋炎

【主な協力診療科】 呼吸器内科、皮膚科

高い確率で間質性肺炎を合併するため、呼吸器内科と連携しています。また皮疹が発症した患者さまは、皮膚科にも受診していただいています。

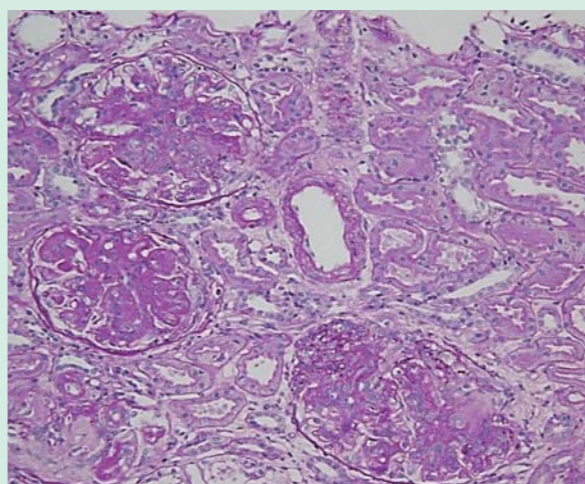


写真左から腎臓・高血圧内科 角田医師、皮膚科 庄田医師、呼吸器内科 重松医師、膠原病・リウマチ内科 北野医師、整形外科 渋谷医師、腎臓・高血圧内科 森島医師、耳鼻咽喉科 笹井医師

【主な協力診療科】 腎臓・高血圧内科、皮膚科

全身性エリテマトーデスの予後を考えるうえで、ループス腎炎が重大な問題となります。ループス腎炎の現状を正しく評価するには「腎生検」が必要ですが、当院では腎臓・高血圧内科との連携により、腎生検を遅滞なく円滑に行うことができます。皮疹の症状に対しては皮膚科と連携することもあり、皮疹以外の症状がない場合は皮膚科主導で治療を進めるケースもあります。

ループス腎炎 組織像



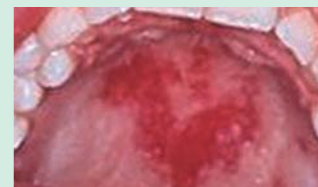
皮疹の症状の一例



蝶形紅斑



ヘリオトロープ疹



口腔の無痛性潰瘍



サーモンピンク疹

連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

医療法人良和会 松浦内科クリニック

診療科目：内科、呼吸器科、循環器科、消化器科
<https://matsuuran.com/>



院長 松浦 良和 Yoshikazu Matsuura

〒550-0005
 大阪市西区西本町3-1-1
 医療センター岡崎橋 4F
 TEL. 06-6541-1187

【アクセス】
 Osaka Metro 千日前線・中央線
 「阿波座」駅1番出口から徒歩すぐ



医療法人良和会 松浦内科クリニック

Osaka Metro 阿波座駅から徒歩すぐのところにある松浦内科クリニック。近隣の患者さまが多いですが、発熱外来を開設していることから、近年は初診患者さまも増えているとのこと。

▶松浦院長は「産業医学」がご専門だとお聞きしました。
 はい。アスベスト肺やじん肺症をはじめとした職業病や健康問題の治療と原因究明・予防に取り組んできました。現在はCOPDなどの呼吸器疾患、慢性心不全などの循環器疾患、胃潰瘍などの消化器疾患ほか、幅広く治療を行っています。また、慢性疾患の定期的診察はもちろん、発熱や腹痛などの急性期症状にも対応しています。
 ▶発熱外来や感染対策に尽力なさっています。本日も先ほどまで発熱の急患に対応されていたんですね。

コロナ禍から風邪症状の患者さまの受け入れを行ってきました。院内は、独立した待合スペースや診察室を複数確保し、導線も完全に分けています。肺炎を疑う症例は、近隣医療機関と連携のうえでCT検査など詳しい画像検査が必要な場合でも、必ず当日中に診断をつけています。

▶松浦院長が診察において注力されていることは何でしょうか。
 発熱＝抗生物質処方をご希望される方が多くいますが、発熱の原因がウイルスであれば抗生物質は効果がありません。ウイルスや細菌感染、アレルギー（特に咳症状）は、しっかりと鑑別しなければ治療がうまくいかないため、適切に診断することが大切です。そのため、患者さまが話しやすい環境づくりをし、治療法などわかりやすい説明を心がけています。

医療法人 橋本膠原病リウマチクリニック

診療科目：内科、リウマチ科、膠原病科
<https://www.hashimoto-rheumachi.jp/>



院長 橋本 尚明 Naoaki Hashimoto

〒541-0048
 大阪市中央区瓦町3-5-7
 NREG御堂筋ビル(旧 野村不動産御堂筋ビル) 4F
 TEL. 06-6231-4807

【アクセス】
 Osaka Metro御堂筋線
 「淀屋橋」駅もしくは「本町」駅から徒歩すぐ



橋本膠原病リウマチクリニックは、リウマチ・膠原病疾患を専門に診るクリニックです。病院からの紹介はもちろん、口コミで関西一円から患者さまが来院されています。

▶橋本尚明院長は専門性の高い治療をご提供されていると聞きました。
 リウマチ・膠原病疾患はすぐに完治するものではなく、長期間継続して治療する必要があります。加齢や合併症によって高血圧や糖尿病、脂質異常症をはじめとする生活習慣病などさまざまな慢性疾患をいくつも同時に抱える場合が多いのです。当院では、それぞれを治療し、コントロールを行い、薬の量や種類の調整を含め全身を総合的に診ることができます。

▶検査も基本は院内で実施可能そうですね。
 症状や検査結果からすぐに薬剤調整などを図る必要があるため、採血、心電図、エコー（胸腹部、心臓、甲状腺など）、骨粗鬆症検査、呼吸機能検査、上部消化管内視鏡など、CT・MRIを除いて基本的な検査は全て院内で行うことができます。

▶橋本院長が心がけていることについて教えてください。
 この領域の治療は長期的スパンで考え、一貫性を持った治療方針のもと、できるだけ計画的に行う必要があります。そのため患者さまにも長く付き合う病気であることを理解してもらえよう心がけています。薬についてもその効果と副作用も十分に説明し、その予防や定期的な検査による経過確認を行い、安心して治療を続けていただけるよう努めています。

医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

住友病院 地域医療連携室 TEL. 06-6447-3031 (直通) FAX. 06-6447-3052
 受付時間／平日 8:30～19:00

ANCA関連血管炎

免疫の異常によりさまざまな血管に炎症が起こる疾患の総称として血管炎症候群があります。このうち小型の血管に炎症が起こる代表疾患が「ANCA関連血管炎」です。
 血管は身体中をめぐっているため発熱や体重の減少、倦怠感といった全身症状が見られるほか、特に腎臓や肺の血管が炎症することによるトラブルや、血管から栄養を得られなくなった神経に障害が起こる末梢神経障害などの合併症が多く見られます。
 ステロイドと免疫抑制剤、またはリツキシマブの併用で治療を行います。以前はステロイドの減量が困難な代表的な疾患でしたが、現在はコントロールが可能な疾患となっています。

【主な協力診療科】

腎臓・高血圧内科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科

ANCA関連血管炎でトラブルが起こりやすい臓器に関連した腎臓・高血圧内科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科と連携して治療にあたります。

強皮症

皮膚が硬くなることを特徴とする膠原病です。皮膚の硬化が四肢の遠位部や顔に局限するタイプと全身に及ぶタイプが存在します。加えて消化管、肺、心臓、腎などの臓器に障害を認めることがあります。レイノー症状と呼ばれる、寒冷刺激による手指の一過性の白色変化は必発の症状です。
 他の膠原病と同様にステロイドや免疫抑制剤、リツキシマブで治療を行います。また病状に応じて循環改善薬、消化器系薬剤、肺高血圧症に対しては肺血管拡張薬を併用し対応します。

【主な協力診療科】

呼吸器内科

間質性肺炎の合併も多く、呼吸器内科と連携しています。



膠原病セルフチェックリスト

以下の症状にあてはまる場合は膠原病が疑われる場合があります。一度受診をおすすめいたします。

- 関節が痛い
- 関節が腫れる
- 朝に関節がこわばる
- 発熱が続く
- 体が痛い
- 指先が真っ白になる
- 手指がソーセージのように腫れる
- 口や目が乾く
- 口内炎を繰り返す
- 顔や四肢に皮疹がでる
- 上下肢の筋肉が痛む
- 息切れしやすい
- 空咳がでる
- 胸やけやげっぷを自覚する

日常生活で注意するポイント 免疫の低下を起こさないように！！

免疫が落ちると風邪にかかりやすくなりますが、風邪になるとウイルスを排除するために免疫が高まります。このとき膠原病の原因となっている免疫も活発化し、自身を攻撃してしまいます。普段の生活では風邪などで体調を崩さないよう手洗いやうがいといった感染症対策が重要です。また疲労を蓄積しないことも大切です。朝、目覚めて疲労感や関節の痛み等、体調がすぐれないときは前日に身体に負担をかけ過ぎていたかもしれません。またしっかり栄養を摂り、質の良い睡眠を確保して肉体的にも精神的にもストレスの少ない生活を送ることが望ましいでしょう。
 感染予防では「免疫を高めるサプリ等を飲んでいいですか?」といった質問を時々患者さまより伺いますが、本当に免疫が高まるなら膠原病を悪くする可能性があるので中止していただくよう説明しています。



乳がん患者さまのサロン「ハピネス」のご案内

「ハピネス」は、乳がん治療やお薬のこと、副作用への対応、お食事や運動などについての勉強会など、患者さま同士やご家族同士が自由にお話できる交流会です。病気の悩みや体験などについて語り合うことで気持ちが楽になることや、療養生活をよりよく過ごすためのヒントを得られることもあります。お気軽にご参加ください。

開催日時 2024年5月25日(土) 14:00~16:00(13:30から受付開始)

開催場所 住友病院14階講堂

参加対象 当院に入院中および外来通院中の乳がん患者さまとご家族

参加費 無料

内容 第1部 勉強会(約50分) 『乳がんの治療Update』西村重彦医師

第2部 座談会(約50分) 参加者同士でお話しましょう

※サージカルマスクの着用をお願いいたします。



お問い合わせ がん相談支援センター 担当: 上田 聖子 TEL.06-6443-1261(代表)

参加申し込みはこちら→



INFORMATION



2024年度 市民公開セミナーのご案内 対面およびオンライン開催を予定しています。

当院では、今年度も市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催いたします。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
2024年 5月16日(木)	よくわかる腎移植:透析以外の選択	腎センター
2024年 7月23日(火)	ソケイヘルニアの治療	外科
2024年 9月26日(木)	そのドキドキは治りますか?	循環器内科
2025年 3月 6日(木)	緩和ケアについて ~常に関わる「緩和ケア」という考え方~	緩和ケア診療部



*セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。



ゴールデンウィークの診療体制

ゴールデンウィークの診療日は下記のとおりです。ご注意ください。

4月				5月						
27日	28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○

×:通常診療なし(急患のみ) ○:通常診療

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用のうえ実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

住友病院理念

信頼性の高い医療で社会に貢献

高水準、良質の医療

(高い評価の臨床研修病院)

患者様のQuality of Lifeを

重視した診療

快適環境

豊かな国際性

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20

TEL.06-6443-1261(代表)

【受付時間】 8:30~11:30、12:30~15:00

「Sound」には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」 ◎発行人:金倉 譲 ◎編集:布部 真哉、西野 秀、増田 亮、小島 夢輝

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.61】 2024年4月1日発行

※表紙のイラストは実際と少々異なっています。



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。



住友病院

住友病院

検索

